

徳山・下松港 貿易概況

平成21年分（速報値）

平成22年2月15日
徳山税関支署

輸出は2年連続のマイナス
輸入は7年振りのマイナス

1. 総括

輸出	3,760億08百万円	(-19.0%)
輸入	4,675億40百万円	(-46.0%)
輸出入差引額	915億32百万円の入超	(増減比は前年比、以下同じ。)

2. 輸出

輸出総額は、3,760億08百万円、伸び率-19.0%、金額にして882億13百万円の減少で、2年連続のマイナスとなった。これは無機化合物、一般機械などが好調であったものの、鉄鋼、有機化合物などが不振だったことが主な要因となっている。

品目別動向では韓国、台湾等向けの無機化合物が44億40百万円の増加、アメリカ、中国等向けの一般機械が15億05百万円の増加となった。

一方、韓国、中国等向けの鉄鋼が704億01百万円の減少、中国、韓国等向けの有機化合物が190億20百万円の減少、中国、マレーシア等向けの合成ゴムが133億62百万円の減少、中国、インド等向けのプラスチックが87億08百万円の減少、韓国、中国等向けの石油及び同製品が52億11百万円の減少となった。

《増加品目》 無機化合物	318億12百万円	(44億40百万円増、+16.2%)
一般機械	36億18百万円	(15億05百万円増、+71.2%)
《減少品目》 鉄鋼	624億17百万円	(704億01百万円減、-53.0%)
有機化合物	1,326億78百万円	(190億20百万円減、-12.5%)
合成ゴム	242億19百万円	(133億62百万円減、-35.6%)
プラスチック	331億97百万円	(87億08百万円減、-20.8%)
石油製品	40億65百万円	(52億11百万円減、-56.2%)

3. 輸入

輸入総額は、4,675億40百万円、伸び率-46.0%、金額にして3,976億55百万円の減少で7年振りのマイナスとなった。これは塩などが増加したものの、輸入品の約8割近くを占める原油及び粗油、石炭などが減少したことが主な要因となっている。

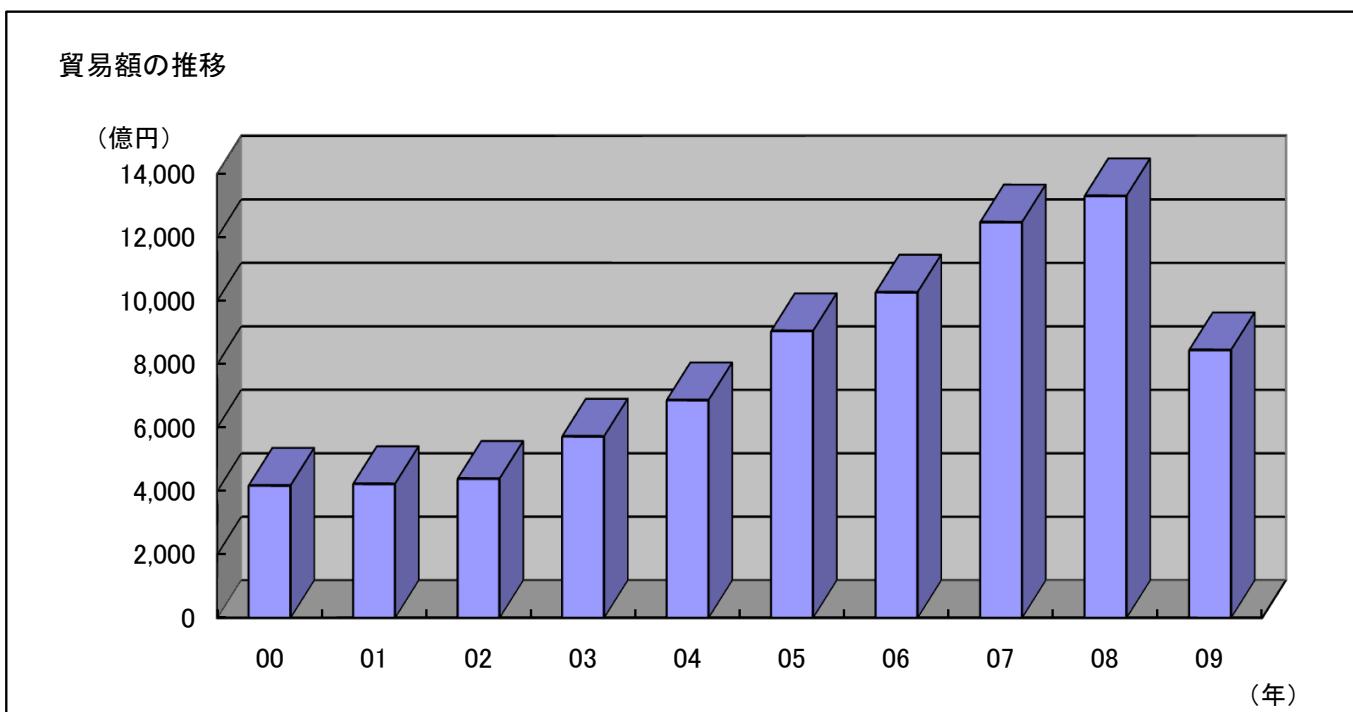
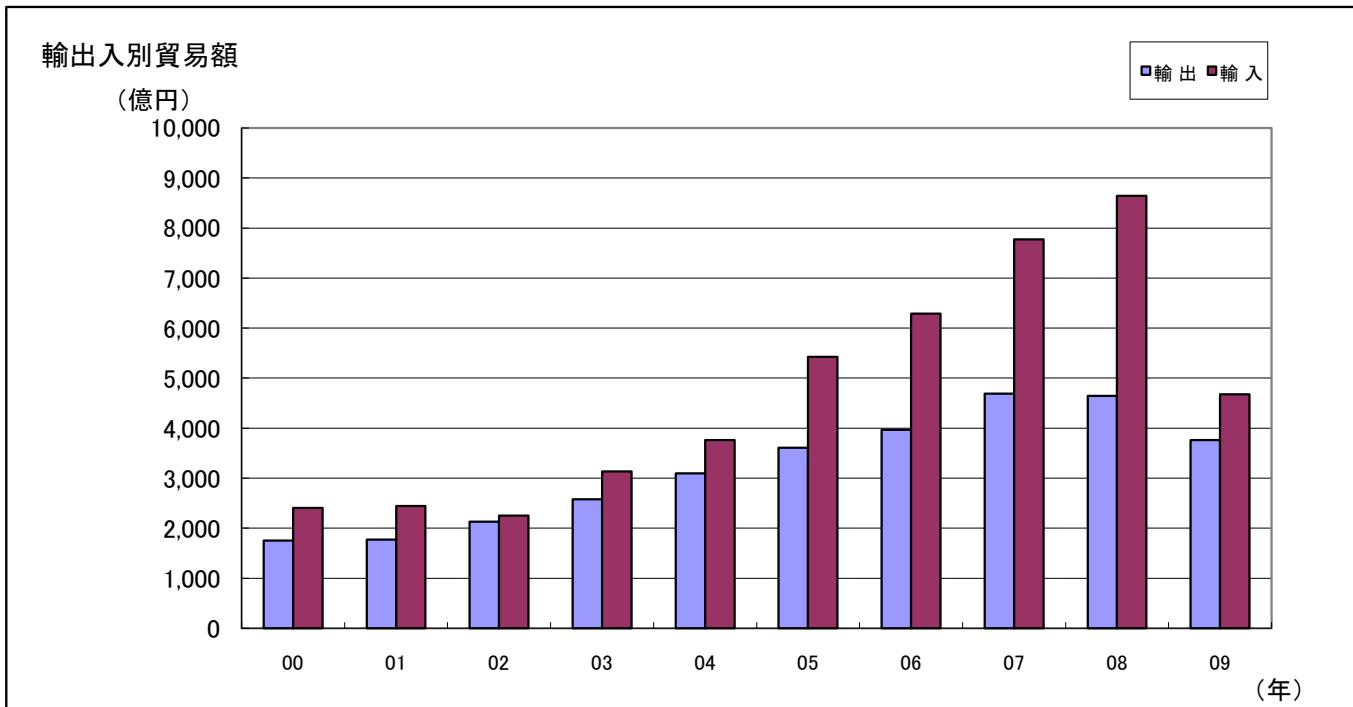
品目別動向では、オーストラリア、メキシコ等からの塩が26億80百万円の増加となった。

一方、カタール、アラブ首長国連邦等からの原油及び粗油が2,030億26百万円の減少、サウジアラビア、アラブ首長国連邦等からの石油製品が677億03百万円の減少、南アフリカ、ニューカレドニア等からの鉄鋼が411億20百万円の減少、オーストラリア、インドネシア等からの石炭が185億62百万円の減少、東ティモール、サウジアラビア等からの液化石油ガスが136億27百万円の減少、台湾、ドイツ等からの機械類及び輸送用機器が83億43百万円の減少となった。

《増加品目》 塩	146億33百万円	(26億80百万円増、+22.4%)
《減少品目》 原油及び粗油	2,094億40百万円	(2,030億26百万円減、-49.2%)
石油製品	838億97百万円	(677億03百万円減、-44.7%)
鉄鋼	293億27百万円	(411億20百万円減、-58.4%)
石炭	617億23百万円	(185億62百万円減、-23.1%)
液化石油ガス	138億42百万円	(136億27百万円減、-49.6%)
機械類及び輸送用機器	61億18百万円	(83億43百万円減、-57.7%)

注. この内容を引用されるときは、徳山税関支署発表による旨附記してください。

年別 徳山・下松港貿易額推移グラフ



年	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
輸出	1,756	1,775	2,129	2,578	3,096	3,610	3,965	4,690	4,645	3,760
輸入	2,408	2,441	2,251	3,134	3,759	5,425	6,288	7,772	8,645	4,675
合計	4,164	4,216	4,380	5,712	6,855	9,035	10,253	12,462	13,290	8,435